

報 廣

Tekisei

やまびこ

〒719-3701 岡山県新見市哲西町矢田4351 TEL 0867-94-3533 FAX 0867-94-3535



平成二十年、哲西荘にて三名の方が満百歳を迎えられました。現在新見市内に百歳以上の人は二十七名で、その内の三名が哲西荘で暮らしておられることになりました。

この三名の方は、明治四十一年（一九〇八年）にお生まれです。先日職員旅行で山口の薄幸の天才詩人金子みすゞ（明治三十六年〜昭和五年）記念館を訪ねました。金子みすゞの生涯をみているうちに職員の一人が「この人、同年代じゃな」とつぶやきました。傍らでぼーっと眺めていた皆、ふつと哲西荘のことを思いました。

金子みすゞと同年代の入居者のみなさんは、一世紀という長い間のさまざまな世の中の移り変わりを経て今もなお、お元気で毎日を哲西荘で過ごされています。

哲西荘をご利用されるすべての方が、めでたく健康やかな百歳を迎えられるよう頑張っていきたいと思えます。

新春ごあいさつ

理事長 生原義人



二〇〇九年の新春明けましておめでとございます。皆様にはお揃いで希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

当福祉会も行政当局をはじめ地域の皆様方のご支援ご協力を賜りここに六年目を迎えることができました。衷心より厚く御礼申し上げます。

今後とも地域福祉の担い手としての自覚と使命感を持って事業に取り組みでまいりたいと思っておりますので何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、平成十二年度から施行された介護保険制度も過去二回の改定では何れも報酬の引き下げが行われ、その結果小規模特養ホームの収益悪化や介護職不足で未稼働の施設が増えてくるような事態も起きています。

更に深刻な問題は、特養ホームへの待機者が急増していることです。これは、過去の制度改定で施設サービスの必要量を極度に抑えた（施設サービスから在宅サービスへのシフト

変換）施策による弊害であるとも言われています。

政府は、ここに来てようやく新年度、介護報酬を二%引き上げると言っています。このたびの改定の主旨は、介護職員の待遇改善に加え、高齢化に伴うサービス等の自然増に対応するものですが、地域差や介護職員の専門性の問題、介護サービスごとの収支差率などをどのように受け止めて報酬改定にメリハリを付けるかといったことも考慮されるものと思われまので、一定の評価はできるものの結論を待たなくては、一様に喜べないのが実情でもあります。

また今回の改定では、保険料の急激アップを避けるため一二〇〇億円規模の基金を創設し（平成二十一年度、二十二年度の二年間について）保険料上昇分の補てんに充てるとしています。先を見据えたものが示されないかぎり制度の抜本的な解決策にはならないと思います。

新年度ではこうした国の動向等にも注目しながら法人の経営理念とあわせて、福祉ニーズを抱える方々への適切な支援の基点となるような取り組みを積極的に進めてまいれる所存でございます。

皆様方より一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

ごあいさつ

施設長 生内良勲



皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、介護保険制度の今後が各方面で話題となつていくことは皆様も報道でご存じだと思えます。ただ、その話の中で現在制度を利用されている方、いずれこの制度を利用しなければならなくなる方を含め、今後、介護保険制度が保険料、利用料、サービス内容等どのように変わっていくのか大きな関心をお持ちではないかと思えます。

現在、在宅介護では高齢者が高齢者を介護する「老老介護」、軽度認知症の夫が重度認知症の妻を介護するといった「認認介護」、介護放棄などの「高齢者虐待」等、問題が多く見られ、在宅での介護の限界が迫っているの

はないでしょうか。その結果は特養等介護施設への待機者が全国で四十五万人という数字にも表れています。施設でも、看護職員・介護職員就職希望者の減少、離職者の増加等問題を抱えています。

このように地域やそのなかに位置する施設を取り巻く環境が昨年以上に厳しい状況となつてきていますが、哲西福祉会は地域の中にある法人、施設だということを一番に考え、「ともに支え合う地域社会の創出」という基本理念のもと、今まで以上にご利用者、ご家族の皆様、地域の皆様からの声を真摯に受け止め、質の高いサービスを提供していくことができたいと思っております。

今年も哲西福祉会にたいしましてご支援、ご協力をお願い申し上げます。皆様にとりまして今年一年が幸せな年でありませうお祈り申し上げます。お祈り申し上げます。





二本松 牧水太鼓

納涼祭

当たったー!

池田くん 大人気!

哲西福祉会納涼祭が八月、今年も盛大に行われました。

市内で大人気の池田和輝さん（新見公立短大）のプロ級の演歌で始まり、暗くなる頃からは去年に引き続き二本松牧水太鼓のみなさんによる雄大な太鼓の響きを聴かせていただいた後、哲西町盆踊保存会のみなさんと一緒に盆踊りの輪をつくりました。最後に哲西荘自慢の花火で締めくくりました。

哲西荘調理室が腕を振るった屋台を囲んで大勢のご家族、地域の方、ボランティアの方と一緒に夏の夜のひとときを熱く過ごしました。

ボランティアありがとうございました
・哲西町ボランティア協議会のみなさん
・新見公立短大、新見高校のみなさん



敬老記念式典

哲西荘でも敬老の日を迎え、記念式典を行いました。大勢の来賓、ご家族が見守られる中、特養、ケアハウス入居者を対象に、百歳二名、白寿二名、米寿六名、喜寿二名、九十歳以上二十名の方に新見市、哲西町婦人会、哲西福祉会より記念品をお贈りしました。

式典の後は、ちらしずしやおでんを食べながら、安来節保存会（坂口美弥子代表）のみなさんによる唄、踊り、銭太鼓などを堪能されました。中でも「どじょう掬い」は全国でも指折りのものだからこそ、貴重なものを見せていただいて、みなさん喜ばれていました。



秋の運動会

特養では、哲西幼児学園きりん組さんと一緒にふれあい運動会を開催しました。

種目は玉入れ、風船バレー、パン食い競争です。「ヨイドン」でみんながんばれ!

元気な子供たちとふれあってみなさん元気をもらわれました。デイサービスでも毎年恒例の大運動会です。

ご利用者のみなさん、普段はとも仲良しですが、この日は赤、白に分かれて勝負! 一生懸命パンにかじりついていらつしやいます。

終わった後はみなさん元の仲良しに戻られ、お互いの健闘をねぎらっておられました。



それぞれの秋を...

芸術の秋ということで、新見美術館「伊東深水展」へご希望の方三名と行ってみました。みなさん近代美人画の巨匠の作品に「ははあ」とため息が出るほどうっとり。
ところが途中から一人の方が「こんな趣味がねえだ」といわれ始めてびっくり! 気分転換に庭のみみじを観ていただいたら「見事じゃなあ」と、ほっと一安心。
また日が変わって、紅葉といえば帝釈峡。とりあえず車に乗り込み行ってみました。
休暇村、神竜湖、上帝釈... いろいろなところをドライバーの気の向くまま? たまには道を間違えたりして。途中下車して記念撮影。
天気が良かったのでみなさん気分良さそうでした。
絵画と自然と、どちらの「芸術」も素晴らしく、入居者の方もそれぞれの「芸術の秋」を堪能されました。



